

令和元年度恵那市実施事業

商業・観光分野

消費者・観光客のニーズに関するデータを収集しつつ、事業実施や都市部人材との交流の中で恵那市の強みとなる資源を掘り起こし、地元産品やグルメ、サービスを充実する。また開発されたものを広く流通させるための手段を確保する。

事業名	概要
恵那市観光振興ビジョンの策定	2027年リニア中央新幹線開業に向け、恵那市の観光に関する基本的な方向性を定め、観光施策を軸とした恵那市の活性化を図るため、観光振興ビジョンを策定する
DMOの推進	恵那市観光協会を中心に地域が一体となった観光地経営を行い、観光を産業として恵那市の活性化を図るため、日本版DMO法人化を推進する
恵那峡再整備事業	リニューアルを契機とした恵那峡PR活動、イベント開催、旅行商品の造成、地域産品を活用した土産物開発を進める
観光客受入環境整備	トイレ洋式化、Wi-Fi整備など観光客のニーズに合わせた受入環境の整備を実施する
「麒麟がくる」関連事業	麒麟がくる大河ドラマ展示施設整備、明知城跡整備、サイン整備等を実施し、サービスの充実を図る 光秀関連商品、光秀グルメの開発を支援し、地元産品、グルメの充実を図る
恵那ブランドものづくりコラボレーション	地域事業者と都市部クリエイターなどの人材の交流により新たな価値を掘り起こし事業化する
クラウドファンディング活用支援事業	資金集めとともに事業のマーケティングや全国へのPRが可能なクラウドファンディング活用を支援する
EC活用支援プロジェクト	市内だけでなく市外にも広く売るため、EC(通信販売)サイトを改善し、消費者ニーズに合わせた情報発信・営業を支援する
キャッシュレス決済システム導入推進プロジェクト	顧客確保とともにデータ収集による事業展開ができる環境整備を支援する

工業分野

優れた製品や技術を持つ地域企業の魅力発信を強化することにより都市部の企業で働くことに対する優位性を伝え、人材確保を進める。また同時に生産性向上のためIoT導入を進め、独自技術や自社ブランドの強化ができる環境を整備する。

事業名	概要
企業の採用力向上事業の充実	就職活動動向、採用活動ノウハウ、自社の魅力発掘・発信方法の習得を支援する
成果を上げる就職面接会等のシステム構築	学生、女性、シニアなどターゲットごとのデータ収集に基づく既存事業の見直しと事業実施を進める
恵那くらしビジネスサポートセンター事業(経営・就職・移住定住支援)の充実	専門家を活用した経営支援、求職側と求人側のデータ収集によるマッチング支援を実施する
シニアワークステーション事業(シニア雇用促進)の充実	働きたいシニア人材の掘り起こしと人手不足を解消したい企業のマッチング支援を実施する
企業の魅力発信事業補助金	人材確保のために自社の魅力発信を強化を図る企業がウェブサイトなどを改修する場合、費用の一部を補助する
IoT推進ラボ事業	生産性向上のためにIoT導入を検討する市内企業が専門家派遣などを活用した場合の費用の一部を補助する

農業分野

たべとるマルシェの継続開催により恵那野菜のファンを増やし、地産地消を推進するとともに、恵那市に適した付加価値の高い作物の生産に向け、引き続き検討する。また恵那農業高校を含めた産官学連携事業の横展開や農福連携などにより耕作放棄地解消を進める。

事業名	概要
水稲＋1 (ONE) 推進事業の充実	老舗和菓子屋「とらや」へ卸す白小豆の生産農家の増加。夏～秋の収穫期以外に生産できる作物の検討。振興作物(トマト・ナス・栗)の生産強化を進める。周年で栽培できる作物の検討
農業者の経営改善事業の充実	意欲ある農家を対象に連続セミナー「農業経営塾」の開催。生産性の向上と労働力の省力化を図るためスマート農業導入の検討
農業の様々な主体との連携事業の充実	日本食農連携機構との連携事業による新たなビジネスモデルの 確立。恵那農業高校を核とした産官学連携事業の効果検証を行い、今後の展開を検討する。他地域で展開することにより耕作放棄地解消へつなげる
遊休農地の活用推進事業の充実	可視化した耕作放棄地図を活用し、地域全体で解消に向けたスキームの確立。移住定住との連携やポータルサイト等により情報発信を強化
農福連携事業の構築	県・JA・社会福祉協議会等の関係機関と調整し基礎調査を実施。農福連携の仕組みづくりを行う
食と農の交流会の充実	食×農交流会の充実。生産者と料理人をつなぐ販売・流通拠点づくりに向けた検討を進める。たべるプロジェクト基本方針に基づく付加価値向上施策を推進する
NEW FARMERS交流会議の充実	マルシェの継続開催による恵那野菜のファンづくりを進め、恵那野菜のブランド化を目指す。生産者やJA等を中心とした農産物販売拠点づくりを進める
拠点となる農産物販売所の整備検討	「直売所のあり方検討委員会」設立。民間事業者との連携による整備の検討を行う

林業分野

市内産木材の利用や市内建築関連業者の利用など木材に関わる地産地消を促進するための仕組みを構築し、林業関連産業を持続するものにする。また、恵那市の森林の魅力発信を強化することにより幅広い人材を呼び込み就業や起業へつなげる環境を整備し、デザインやアートなど子どもが憧れる職業を市内に増やす。

事業名	概要
オリジナル木工製品開発促進事業の充実	優れた技術とアイデアによる木工作品を展示し木製品の魅力をPRする。
住宅建築の促進事業の充実	市内産材を活用した住宅建築の促進を行う。
えなの森林魅力発信事業の充実	林業現場の見学、移住者の暮らし見学、農泊体験、林業者との交流を通じ、恵那の林業の魅力を知ってもらう。 林業に関心がある人を次のステップにつなげるため、山仕事手習い塾や現場でのインターンシップを実施する
森林環境譲与税を活用した森林整備	森林所有者自らが森林の管理が出来ない場合に市が森林の集積を実施し、森林の経営管理の委託を受け森林整備を行う 人材育成、担い手確保のための森林教育を行う